

令和元年度進行管理・評価シート
宗像市歴史的風致維持向上計画（平成30年3月26日認定）
（軽微な変更 令和2年3月25日）

進捗評価シート(様式1)

組織体制(様式1-1)	
1 計画の実施体制	1
重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(都市計画法)	2
2 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(景観法)	3
3 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(屋外広告物法)	4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 史跡宗像神社整備事業(沖津宮・沖津宮遙拝所・中津宮・辺津宮)	5
2 歴史的風致形成建造物等整備事業	6
3 歴史的風致等景観整備事業	7
4 道路美装化事業	8
5 まちなみ環境整備事業	9
6 無形民俗文化財等調査支援等事業	10
7 歴史文化資産継承支援事業	11
8 歴史文化基本構想策定事業	12
9 歴史文化資源ガイダンス拠点整備事業	13
10 歴史文化資産普及啓発事業	14
11 観光拠点施設整備事業	15
12 観光受入環境整備事業	16
13 地域活性化支援事業	17
文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定	18
2 文化財の修理事業、防災に関する事業	19
3 文化財に関する普及・啓発の取組	20
効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 (報道等タイトル名)	21
その他(効果等)(様式1-6)	
1 (住民の意識と観光振興)	22
法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	23

評価軸 -1 組織体制		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
計画の実施体制		実施済 実施中 未着手	
計画に記載している内容	計画策定時に設置した「歴史的風致維持向上計画庁内検討委員会」を「宗像市歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会」に改編し、行政内部における計画の進行管理及び連絡調整を行う。また、計画変更に関わる検討事項や事業の実施に係る懸案事項がある場合には、「宗像市歴史的風致維持向上計画推進協議会」に意見を求める。		
定性的・定量的評価(自由記述) <small>定量的評価は可能な範囲で</small>			
・宗像市歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会を開催し、行政部内における各事業の方針決定、進捗管理及び連絡調整を行った。実施回数:2回 ・宗像市歴史的風致維持向上計画推進協議会を開催し、認定変更や各事業の方針、事業評価における意見聴取を行った。実施回数:1回			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
庁内体制の変更 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; border: 1px solid black; padding: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>平成30年度 宗像市歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会 【事務局】 都市計画課 【関係課】 郷土文化課 世界遺産課 建設課 維持管理課 商工観光課 経営企画課 教育政策課</p> </div> <div style="font-size: 2em;">➔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>令和元年度 宗像市歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会 【事務局】 都市計画課 【関係課】 文化財課 世界遺産課 建設課 維持管理課 商工観光課 経営企画課 教育政策課</p> </div> </div>			
推進体制 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">宗像市歴史的風致維持向上計画 推進体制</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>宗像市歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画課 ・建設課 ・文化財課 ・維持管理課 ・世界遺産課 ・商工観光課 ・経営企画課 ・教育政策課 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>宗像市歴史的風致維持向上計画推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学識経験者 ・重要文化財建造物等の所有者 ・福岡県 ・市長が必要と認める者 </div> </div> <p style="text-align: center; margin: 10px 0;"> 連携・協力 提案 意見 </p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>事務局(都市計画課、文化財課)</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> 意見募集 ↓ ↑ 意見 市民(パブリック・コメント) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 付議・報告 ↓ ↑ 意見 教育委員会 文化財保護審議会 都市計画審議会 </div> </div> </div>			
宗像市歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会		令和元年7月5日	令和2年1月22日
宗像市歴史的風致維持向上計画推進協議会		令和2年3月17日	
		 <p>宗像市歴史的風致維持向上計画 庁内推進委員会</p>  <p>宗像市歴史的風致維持向上計画 推進協議会</p>	

評価軸 -1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度
重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(都市計画法)		実施済 実施中 未着手

計画に記載している内容 本市では、離島を除く市全域が都市計画区域であり、そのうち約17%にあたる1,876haが市街化区域、残りの9,114haが市街化調整区域である。3つの重点区域は全域が都市計画区域外又は市街化調整区域に位置している。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

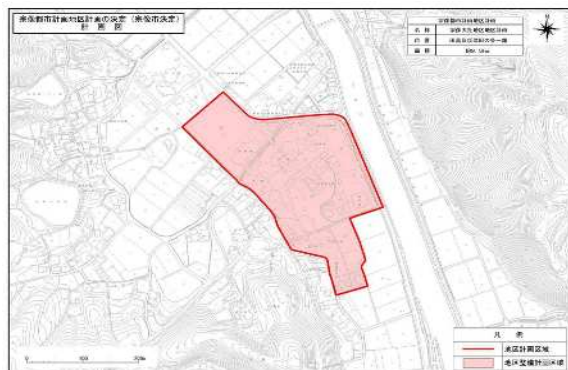
・宗像大社などの歴史資源を活かした観光機能と地域住民の生活文化を支える機能を将来にわたって維持・保全するとともに、周辺地域と調和のとれた文化交流拠点としての土地利用を図るため、地域の特性に応じてきめ細やかなルールを定める地区計画制度を活用して、周辺にみられる歴史的風致との調和に努め、良好な市街地環境の形成を図るため、2013年(H25)決定の「宗像大社地区地区計画」に基づき、建築行為等に対し、地区の特性に応じた規制誘導を行った。
協議実績 R1年度:2件

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等

宗像大社地区地区計画の制限内容、区域図

名称	宗像大社地区地区計画		地区整備計画		
位置	宗像市田島及び深田の各一部				
面積	約9.3ヘクタール				
地区計画の目標	<p>本地区は、宗像市の北西部に位置し、宗像大社を核として魅力的な歴史資源を活かした観光機能と地域住民の生活文化を支える機能が融合した地区である。</p> <p>宗像市都市計画マスタープランでは、「魅力的な歴史資源を核とする地域の中心」に位置づけられ、世界的にも貴重な歴史資源を守り育て、またこれらの資産を輝かせ、悠久の歴史を醸し出すようなまちづくりを進める。</p> <p>そこで本計画は、宗像大社などの歴史資源を活かした観光機能と地域住民の生活文化を支える機能を将来にわたって維持・保全するとともに、周辺地域と調和のとれた文化交流拠点としての土地利用を図る。</p>		建築物等に関する事項	建築物等の用途の制限	<p>第1種住居地域内に建築できる建築物のうち、次に掲げる建築物に限り建築することができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 神社 2 結婚式場の用途に供する部分の床面積の合計が1,500平方メートル以内のもの 3 店舗、飲食店その他これらに類する用途に供するものうち政令第130条の5の3で定めるものでその用途に供する部分の床面積の合計が500平方メートル以内のもの 4 事務所の用途に供する部分の床面積の合計が1,500平方メートル以内のもの 5 図書館、博物館その他これらに類するもの 6 前各号の建築物に付属するもの 7 市長が地区の環境を害するおそれがないと認め、公益上やむを得ないと認めるもの
区域の整備・開発及び保全の方針	【土地利用の方針】 宗像大社を中心に、歴史と文化を活かした交流を促進する施設や歴史資源を活かした観光施設を誘導する。	【建築物等の整備の方針】 土地利用の方針に基づき、建築物等の用途の制限、建築物の容積率及び建ぺい率及び高さの最高限度、壁面の位置等の制限、垣又はさくの構造の制限を定め、豊かな自然環境に囲まれ昔ながらの景観が守られたゆとりある良好な拠点の形成を図る。		建築物の容積率の最高限度	10分の20
				建築物の建ぺい率の最高限度	10分の6
				壁面の位置の制限	建築物の外壁若しくはこれに代わる柱の面から道路境界までの距離は1メートル以上とする。
				建築物等の高さの最高限度	建築物の高さは、20メートル以下とする。
				垣又はさくの構造の制限	垣又はさくを設置する場合は、原則として生垣又は高さ1.8メートル以下の透視可能な材料(高さが60センチメートル以下の部分はこの限りでない。)でつくられたものとする。
			備考	用語の意義及び算定方法については建築基準法及び同法施行令の例による。	



評価軸 -2
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度
重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(景観法)		現在の状況 実施済 実施中 未着手

計画に記載している内容 「宗像市景観計画」において、エリアや軸、景観重点区域それぞれにおける景観形成の方針や、建築・建設行為、開発行為等を行う際の景観形成のルールを定め、景観誘導を図っている。景観重点区域は、各構成資産周辺の景観保全・形成、大島御嶽山や海上からの眺望範囲の観点から、景観重点区 ~ の3つの区域に区分している。なお、本計画の重点区域は全て景観重点区域に含まれている。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

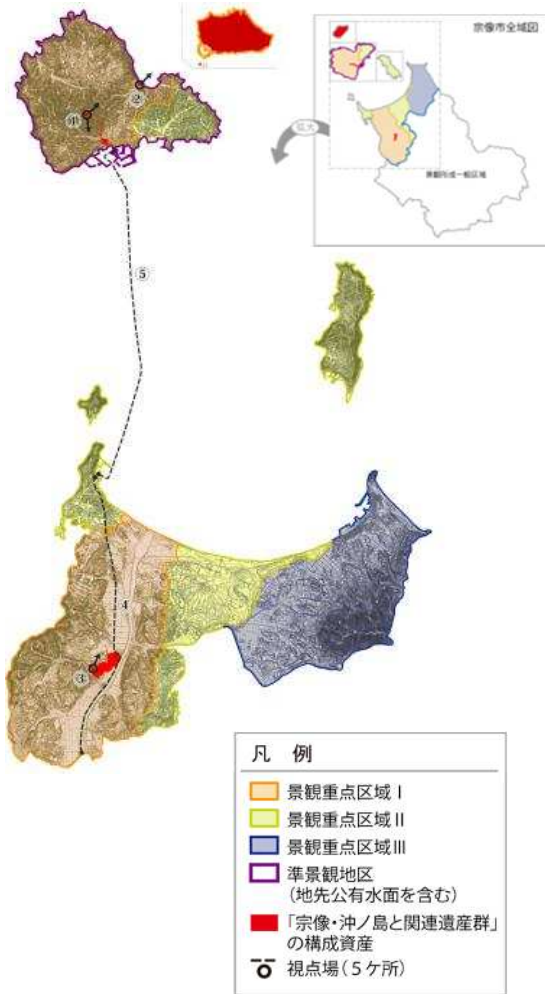
・2014年(H26)策定の「宗像市景観計画」に基づき、一定の建築行為等に対し、良好な景観を守るために規制誘導を行った。
事前協議・届出実績:令和元年度 51件 うち、重点区域 21件
・重点区域内の行為については、景観アドバイザー会議を開催し、専門家による助言・指導を行った。 開催回数:6回

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

景観重点区域の区域区分と視点場の位置



景観重点区域内の届出対象と行為の制限の一部

建築物		景観形成基準		
対象		景観重点区域 I	景観重点区域 II	景観重点区域 III
形態意匠の制限	素材・形状	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的風土や周辺の景観との調和を図り、景観の連続性及び一体感を保つため、切妻、入母屋、寄棟等の勾配屋根(3/10~6/10の勾配)とする。 屋根素材は、瓦葺などの伝統素材を使用することを推奨し、他の素材を使用する場合は色彩基準(1)に基づきものとする。 		
	色彩	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的風土や周辺の景観と調和した色彩とし、基調色は色彩基準に基づきものとする。 		
位置・配置	素材・形状	<ul style="list-style-type: none"> 壁面線については、周囲の建築物と調和させる。 公共空間に面する外壁は、板張、漆喰、土壁等の自然素材や伝統素材を推奨し、他の素材を用いる場合は、色彩が伝統素材に近いもの、または質感が自然素材に近いものを使用する。 		
	色彩	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的風土や周辺の景観と調和した色彩とし、基調色は色彩基準に基づきものとする。 従属色は外壁各面の面積の1/5以内、アクセント色は外壁各面の面積の1/20以内とし、色彩基準に基づきものとする。 ただし、着色していない木材・レンガ・コンクリート・ガラス等の材料によって仕上げられている部分は、この限りではない。 		
高さの最高限度	位置・配置	<ul style="list-style-type: none"> 視点場(2)からの眺望を阻害しない位置・配置とする。 山なみの稜線や松原のスカイラインを阻害しないように、地形に配慮した位置・配置とする。 		
	建築設備	<ul style="list-style-type: none"> 空調室外機等の屋外に設ける建築設備は、公共空間から目立たない場所に配置し、やむを得ず設置する場合は公共空間から見えないように隠すか、色彩基準に基づき修景する。 	<ul style="list-style-type: none"> 空調室外機等の屋外に設ける建築設備は、公共空間から目立たない位置への配置に配慮する。 	
高さの最高限度	高さの最高限度	<ul style="list-style-type: none"> 高さは、10m以下とする。 視点場からの眺望を阻害しない高さとする。 視点場からの眺望の背景となる山なみの稜線や松原のスカイラインを超えないように配慮する。 周囲の集落景観や田園景観と調和し、突出しない高さとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 高さは、13m以下とする。 視点場からの眺望を阻害しない高さとする。 視点場からの眺望の背景となる山なみの稜線や松原のスカイラインを超えないように配慮する。 周囲の集落景観や田園景観と調和し、突出しない高さとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 視点場から見て、周囲の景観から突出しない高さとする。 視点場からの眺望の背景となる山なみの稜線や松原のスカイラインを超えないように配慮する。

評価軸 -3
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度
重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(屋外広告物法)		現在の状況 実施済 実施中 未着手

計画に記載している内容
 良好な景観をより積極的に保全・形成し、風致を維持するとともに、公衆に対する危害を防止するため、屋外広告物法に基づき、屋外広告物条例を施行している。
 規制内容については、景観計画の内容や地域の特性を踏まえ、3つの特別地域と1つの普通地域に区分し、地域ごとの基準を定めている。なお、本計画の重点区域は、全て特別区域に含まれている。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

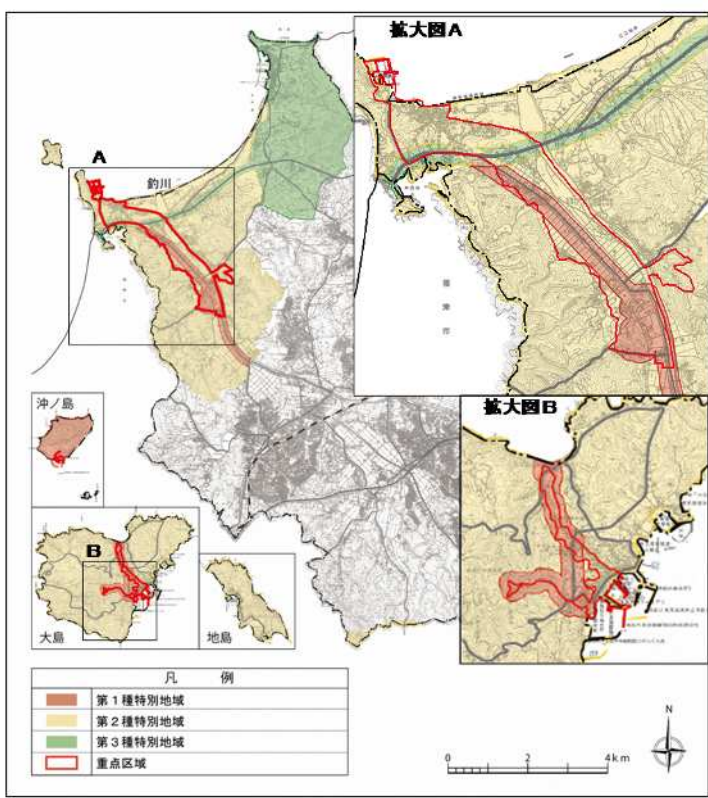
・2015年(H27)施行の「宗像市屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物の設置に対し許可申請を実施することで、本市の歴史的景観等に配慮した規模・数量・色彩などへと誘導を行った。 許可申請件数:7件
 ・無許可広告物の改善を図るため、文書による通知、訪問などの指導を実施 指導実績:8件

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない
 重点区域内にある無許可広告物が景観阻害要因となっていることから、広告主等に対して文書等による指導を実施しており、良好な景観形成に向け、さらに誘導を図っていく必要がある。

状況を示す写真や資料等

屋外広告物条例による地域区分



基準の概要(共通基準)

項目	基準
広告物の規模	広告物の面積、高さ及び数量は、必要最小限とすること。 複数の広告物を無秩序に設置することは避け、できる限り集約化すること。
周辺との調和	広告物の形態意匠は、地域特性や周辺環境との調和を図ること。 建築物その他の工作物等に附属する広告物の形態意匠は、当該建築物その他の工作物等との調和を図ること。
色彩や光の使い方	広告物の色彩の基調色は、周辺環境及び建築物その他の工作物等と類似又は融和するものとする。
他法令の遵守	道路法、建築基準法、自然公園法等条例以外の法令の適用を受ける広告物にあっては、これらの法令の規定に適合すること。

評価軸 -1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
史跡宗像神社整備事業（沖津宮・沖津宮遙拝所・中津宮・辺津宮）		実施済 実施中 未着手

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 歴史的風致活用国際観光支援事業(平成30年度)、国宝重要文化財等保存整備費補助金(平成30年度～令和元年度)、市単独

計画に記載している内容 「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の構成資産である重要文化財宗像大社辺津宮本殿等の建造物の修理・復原や修景、また史跡宗像神社境内の参道、広場、法面等の修景や整備を行うとともに、防火、防犯、防災設備や解説板、登録銘板等の設置を行うことにより周辺環境の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

・世界遺産の価値の理解促進のため、構成資産に多言語による登録銘板と解説板を設置した。
宗像大社辺津宮;解説板(N=1基) 宗像大社中津宮;登録銘板(N=1基)、解説板(N=1基) 沖津宮遙拝所;登録銘板(N=1基)、解説板(N=1基)
・宗像大社辺津宮の社について、史跡の価値を高めるため所有者が樹木整理等の環境整備を行った。
整備面積 A=1,200㎡、伐木 N=30本

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

登録銘板・解説板設置の状況



社業の環境整備の状況写真



歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
歴史的風致形成建造物等整備事業		現在の状況 実施済 実施中 未着手

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独

計画に記載している内容 歴史的風致を形成する建造物等の整備のため、鎮国寺の参道整備や八所宮の土塀や石垣等の復原や修景、宗像大社辺津宮神門の修景など、歴史的風致形成建造物等の復原や修景を行い、歴史的風致形成建造物等の周辺の環境整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

・市指定文化財の八所宮の石垣及び土塀について、所有者が保存修復事業が実施し、宗像市文化財補助金交付要綱に基づき事業費の一部を支援した。令和元年度事業:土塀土積み(L=61.6m)、瓦製作(N=328枚)
・国登録有形文化財の旧出光家住宅主屋について、所有者が床下や外壁など老朽化部分の修復を実施した。

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

八所宮の石垣および土塀修復事業



瓦選別



土塀土積み作業



土塀(乾燥中)



旧出光家住宅主屋(国登録有形文化財)

評価軸 -3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
歴史的風致等景観整備事業		実施済 実施中 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和4年度)、防災・安全交付金(道路)(平成30年度～令和3年度)、市単独		
計画に記載している内容	歴史的風致の維持向上の一環として、良好な景観を形成するため、無電柱化、道路附属物等の修景、便益施設等の整備、景観障害要因の除去等、良好な景観形成に資するための整備を実施し、歴史的風致区域の景観整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) <i>定量的評価は可能な範囲で</i>			
・辺津宮周辺の無電柱化に向けて、「官民連携無電柱化支援事業宗像大社地区協議会、技術検討部会」を4回開催し、関係者間で事業実施に向けた協議を行った。 ・鎮国寺周辺の落石防護柵について、修景整備を実施した。整備延長L=56.0m			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		無電柱化については、電線事業者、宗像大社及び関係機関との調整が必要なため、協議会を開催しながら実施する。	
状況を示す写真や資料等			

宗像大社辺津宮周辺の無電柱化計画

宗像市道 深田・縄手下線 (官民連携無電柱化支援事業)

●路線概要

- 区別名： 深田島宮宗像市道
- 事業延長： 0.170km
- 路線延長： 0.170km
- 道路状況： 雙車道標準成道路

●無電柱化の必要性

- 当該路線は平坦な地形に隣接する路線。
- 良好な景観の形成のために無電柱化が必要な路線。

H30.11.29 福岡県無電柱化協議会

鎮国寺周辺の落石防護柵整備



評価軸 -4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
道路美装化事業		実施済 実施中 未着手

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和4年度)、市単独

計画に記載している内容 歴史的風致の維持向上の一環として、良好な景観を形成するため、主に鐘崎や神湊、大島等の市道の美装化を実施し、歴史的風致区域の景観整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

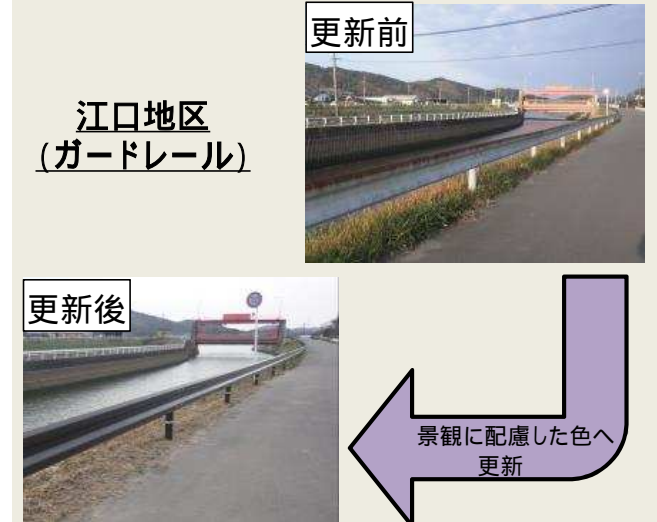
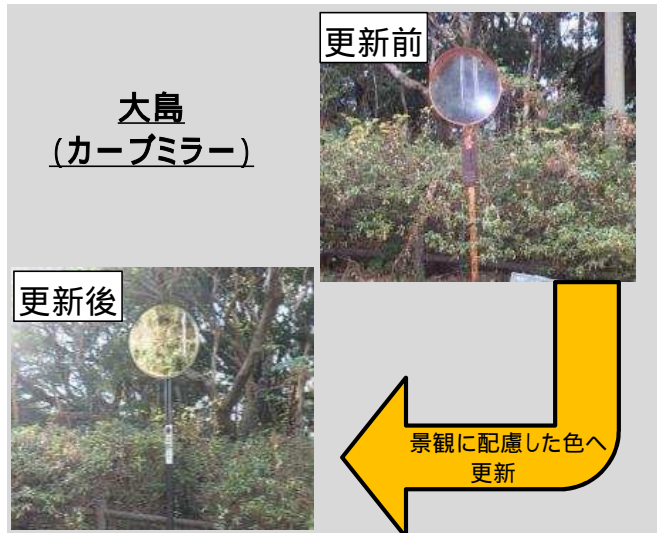
・大島及び江口・牟田尻地区周辺道路について、関係機関と協議を行いながら道路附属施設(安全施設など)の修景整備を実施した。
カーブミラー:10基、ガードレール:3箇所 195m

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

景観に配慮した道路安全施設の更新



評価軸 -5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
まちなみ環境整備事業		現在の状況 実施済 実施中 未着手

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独

計画に記載している内容 田島地区や大島地区等、歴史的なまちなみの維持や再生を図るため、建築物や工作物の外観修景等を実施して、歴史的風致の範囲を中心にまちなみ環境の整備を実施する。

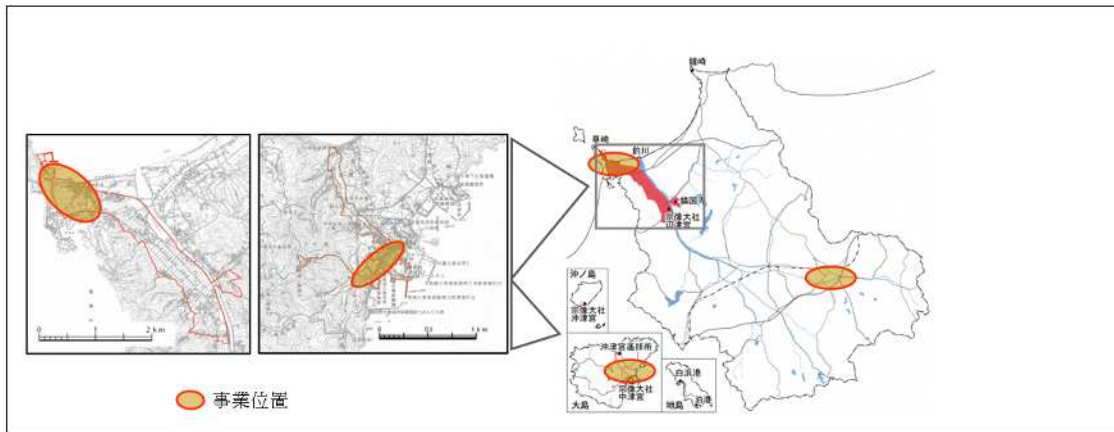
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

対象地域での建築物や工作物の新築及び改築等に対して、適切な助言・指導を行うことで、建築物等の修景がなされ、地域固有の風情が醸し出されるなど良好な周辺環境の整備に繋がった。
事前協議・届出件数:22件

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等

事業位置



事前協議・届出実績(重複含む)

- 住宅の新築
- 住宅の増築
- 事務所・店舗の新築
- 寺院の増築
- 電柱の新設
- 携帯電話無線基地局の新設
- 自動販売機の新設
- 宗像消防署大島分遣所の色彩の変更
- 大島における擬木柵の新設

評価軸 -6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
			現在の状況
無形民俗文化財等調査支援等事業			実施済 実施中 未着手
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	地域の歴史文化資産を後世に引き継ぐため、未指定文化財を含めた民俗文化財の調査や記録、情報発信を行い、多くの人にその価値を知ってもらうための啓発活動等の支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) <small>定量的評価は可能な範囲で</small>			
・新修宗像市史編さん事業に伴い、市内各地で執筆者等による祭礼・行事・くらし等に関する調査が行われ、市史編集委員会によって民俗文化財の価値や調査成果に関する情報発信が企画、実施された。 調査回数:34回 調査案件:宮座、宗像四国東部霊場、盆踊り等 啓発活動:宮座調査報告会、収集資料や調査報告等のHPへの掲載等(掲載回数:12回) ・地域コミュニティや各種団体で構成する「宗像市世界遺産市民の会」において、啓発イベント「神迎え灯籠の道」「宗像三女神記ミニ講演」及び清掃活動や資産見回り活動などを行った。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している			
計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

民俗文化財の調査・記録・情報発信



鐘崎盆踊り(県指定無形民俗文化財)



宮座調査報告会

宗像市世界遺産市民の会による活動



神迎え灯籠のみち(9/27～10/4)



宗像三女神記ミニ公演(1/18、2/1)



構成資産見回り活動(10/23)



遙拝所海岸清掃(11/2)

評価軸 -7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
歴史文化資産継承支援事業		実施済 実施中 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	民俗文化財に関する市民活動等を支援し、文化財の保存・継承及び地域の活性化を促進する。特に、民俗文化財に関する担い手や後継者を確保し、伝承の支援を行う。また、伝統的な技術や技法を保持する者と、そのもとで技術や技法を修得し継承しようとする者に対する技術伝承にかかる活動費や地域固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動継承に対する支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) <small>定量的評価は可能な範囲で</small>			
・文化財保存活用地域計画の作成に先立ち、指定無形民俗文化財の保護団体等に対し、その活動状況を踏まえ、様々な課題等の聞き取り調査や意見交換を実施し、今後の支援のあり方について検討を行った。(聞き取り回数:5回) ・地域固有の民俗文化財などに関わる情報発信や活動支援は、民俗文化財の魅力や伝承の大切さを伝えるきっかけになるとともに、担い手や後継者の確保、さらにはそれらの民俗文化財を活かした地域の活性化に資することが期待できる。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		今後作成する文化財保存活用地域計画において、支援のあり方を踏まえた実施計画を定める予定。	

状況を示す写真や資料等



聞き取り調査票

評価軸 -8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
	現在の状況	
歴史文化基本構想策定事業		実施済 実施中 未着手

事業期間 平成30年度～令和5年度

支援事業名 市単独
文化芸術振興費補助金(令和元年度)

計画に記載している内容 未指定の建造物や祭り・習俗等の無形の民俗文化財、検証が行われていない埋蔵文化財について、学術的調査を実施し、歴史的史実の把握、価値付けに努め、後世に引き継ぐための問題点を明らかにするなど、その調査結果を総合的に整理し、全容解明に努める。また、調査によって価値が判明した歴史文化資産については、新たな文化財としての指定など、確実な保存と積極的な活用を進めるため、「宗像市歴史文化基本構想」(仮称)を策定する。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

・文化財の保存・活用に関して目指すべき目標やその実現に向けた事業等の実施計画を定めるため作成する「文化財保存活用地域計画」に係る状況調査等を実施した。実施内容:協議会開催(1回)、自然地理・社会的状況・歴史的背景の把握、文化財の把握、施策・計画・活動の把握

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない 「文化財保存活用地域計画」は令和2年度文化庁認定申請予定。

状況を示す写真や資料等



文化財の把握(調査)



市民協働による文化財の把握(調査後の情報共有)



文化財の把握(既存調査の把握)

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
歴史文化資源ガイダンス拠点整備事業			実施済 実施中 未着手
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和4年度)、市単独		
計画に記載している内容	歴史文化資源の価値が失われないように保存するため、宗像大社辺津宮に隣接する敷地(約34,000平方メートル)に国宝約8万点を展示・収蔵する文化施設をはじめ、中核来訪者施設(世界遺産センター)、文化財保存管理及び研究施設、図書館分館など、延べ面積約6,000平方メートルの施設整備を行い、歴史文化資源の啓発を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会(福岡県、福津市、宗像大社、宗像市)を2回実施し、同保存活用協議部会を2回実施した。また、3者(福岡県、福津市、宗像市)による担当者会議は毎月2回実施した。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	歴史文化資源ガイダンス拠点整備のあり方については、施設内容、建設位置及び予算計画など整理すべき課題が多く、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会(福岡県、福津市、宗像大社、宗像市)で検討するも、具体的な事業の実施には至っていない。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸 -10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
歴史文化資産普及啓発事業		実施済 実施中 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和4年度)、市単独		
計画に記載している内容	市内の歴史文化資産の普及・啓発のため、各種啓発事業を行うほか、子ども向けの歴史学習教室を開催し、小学校低学年から、本市の歴史文化資産や歴史まちづくりを理解する機会を提供する。さらに、小中学校の地域学習を進め、地域の産業や消費生活の様子、諸活動や人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて記載し、地域に対する誇りと愛情をもち、地域の一員としての自覚を高める。		
定性的・定量的評価(自由記述)		定量的評価は可能な範囲で	
<p>・九州で歴史まちづくりに積極的に取り組む11都市の首長が一堂に会し、今後の歴史まちづくりの展望を語り合う「九州歴史まちづくりサミットin日南」を共催し、魅力的な地域の歴史、伝統や文化を次世代に継承するための歴史まちづくりを紹介した。</p> <p>・世界遺産学習の副読本を作成し、全校で世界遺産学習を実施した。また、低学年向けに世界遺産学習の教材を作成し、各学校に配布した。</p> <p>副読本:平成29年度 9,000部、平成30年度 1,100部、令和元年度 1,100部</p> <p>・世界遺産学習に対する支援を行い、本市にある貴重な文化財に触れ合うとともに地域に誇りを感じてもらう機会を設けた。</p> <p>対象:市内小・義務教育学校(社会科見学等バス助成実施校数:13校)</p> <p>・ふるさと学習に係る海の道むなかた館の施設利用予約及び行政職員によるゲストティーチャー出前授業等のメニュー「ふるさとふるふる講座」を創設し、依頼窓口を一本化するなど、実施体制を整備した。</p> <p>出前授業メニュー:14種類、施設対応メニュー:5種類 実施回数:39回(内訳 出前授業:20回、施設利用メニュー:19回)受講者数:2,984人</p> <p>・2月に世界遺産学習全国サミットinならがで開催され、宗像市から河東中学校が代表校としてポスターセッションに参加し、自校での世界遺産学習の取り組みについて発表した。また、全国の世界遺産学習の取り組みを学んだ。</p>			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している	計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等			
 <p>九州歴史まちづくりサミットin日南 (2020.1.14)</p>		 <p>ふるさと学習(世界遺産学習)の様子</p>	
 <p>世界遺産学習全国サミットinならでの河東中学校のポスターセッションでの発表の様子</p>		 <p>修学旅行先の京都において、外国人旅行者の方に対し、宗像市をPRする活動に取り組んでいる様子</p>	

評価軸 -11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
観光拠点施設整備事業		現在の状況 実施済 実施中 未着手

事業期間 平成29年度から令和9年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和4年度)、市単独

計画に記載している内容 本事業は、歴史文化資産の啓発と観光振興のため、宗像大社等の歴史文化資源と連携を図る特化施設として位置付けている、むなかた観光物産館の整備を実施し、歴史文化資産と観光拠点を活かした地域活性化を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

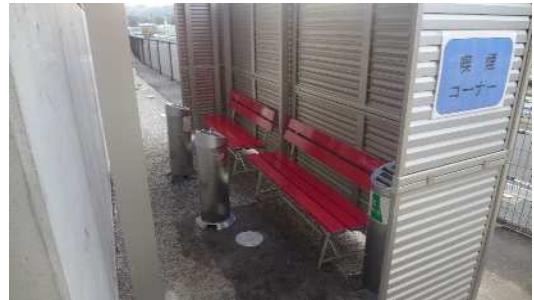
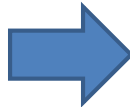
・宗像市観光物産館(道の駅むなかた)の喫煙場所を施設利用者が頻繁に往来する場所に配置していたが、健康増進法の改正に伴い、望まない受動喫煙の防止を図るなど環境を改善するため、建築物の背後へ移設し、施設(A=8.5㎡)を整備した。

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		

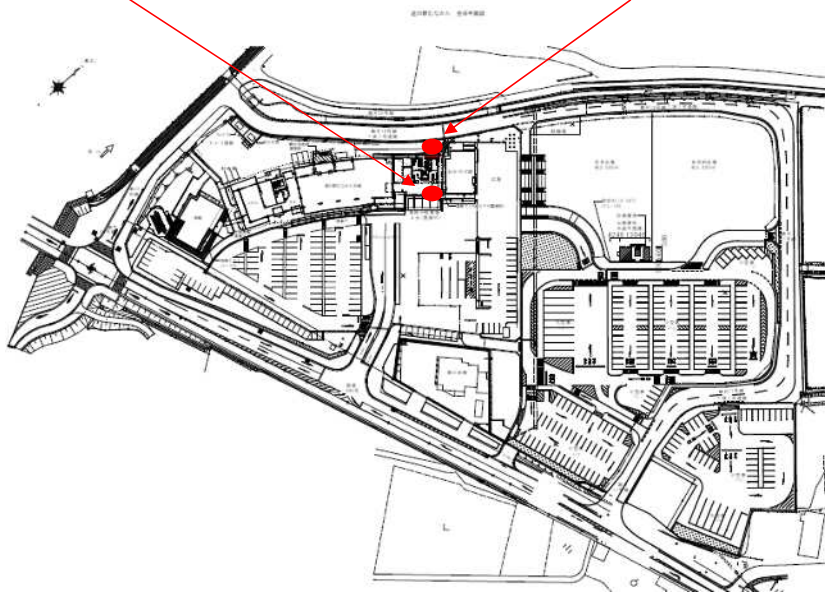
状況を示す写真や資料等



物産館前面の通路、駐車場に面し配置していた喫煙所



喫煙所を目立たない場所に移設し、
景観に配慮した目隠しフェンスなどを整備



道の駅むなかた全体平面図

評価軸 -12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
観光受入環境整備事業	実施済 実施中 未着手	

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 歴史的風致活用国際観光支援事業(平成30年度)、市単独

計画に記載している内容
本市の歴史文化資産の魅力、伝統的な活動、まちなみなどについて、観光客等に同行して案内する観光ガイドを専門の養成講座の開催によって養成する。また、歴史文化資産の周辺など来訪者が多い場所において、歴史文化資産の紹介や観光ルート等に関する案内板の新設・改修・修繕を行う。案内板の整備にあたっては、多言語化、通信機器への対応について、ICTの活用を踏まえた検討を行う。歴史文化資産の豊富なまちなかの回遊性を向上させ、市民や来訪者が歴史的風致を感じながら安心して快適に散策できる環境を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

・観光ガイドの新規登録促進の取組や登録ガイドの養成講座を実施した。
登録者数:令和元年度 109人、平成30年度 106人、平成29年度 90人
養成講座開催回数:9回
・複数存在する観光情報等のパンフレットを統合し、デザインや多言語化を含め、リニューアルすることで利便性はもとより、質の向上を図った。また、掲載情報の精査を行ったうえで、WEBサイトにも情報を掲載することで、さらに利便性の向上を図った。
パンフレット(20P) N=5,000部及びWEB掲載

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



評価軸 -13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
			現在の状況
地域活性化支援事業			実施済 実施中 未着手
事業期間	平成27年度～令和9年度		
支援事業名	市単独 平成27年度は地方創生加速化交付金を活用		
計画に記載している内容	良好な景観形成の推進や地域活性化の一環として、赤間宿通り等の観光拠点に新規出店を行う者に対して支援を実施する。また、地元まちづくり団体等が実施する活動を支援し、地元と行政が一体となって地域活性化を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
・「宗像市赤間宿空き店舗新規利用支援事業補助金交付要綱」に基づき、赤間宿通りにおける空き店舗の改装、新規利用を支援した。空き店舗数:令和元年度 8件、平成30年度 11件、平成29年度 14件 ・「宗像市北部沿道商業地等新規出店補助金交付要綱」を創設し、新規出店を促すなど、地域活性化に向けた新たな取り組みを行った。 相談件数 2件			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		赤間宿通りの空き店舗については、赤間宿通り活性化協議会等と連携して、引き続き賃貸化交渉を行う。	
状況を示す写真や資料等			



賃貸後、雑貨等販売店舗



賃貸化後、コワーキングスペースなど

評価軸 -1
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定		現在の状況 実施済 実施中 未着手

計画に記載している内容
本市に存在する指定・未指定の有形文化財(建造物)及び無形文化財について、その実態を把握する取組みを進めるとともに、保存・活用の方策を講じる他、重要なものについては文化財として新たに新たに指定する等により、文化財の保護を図る。さらに、今後策定される計画とも整合をとりながら進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

・新修宗像市史編さん事業に伴い、有識者による市内の歴史的建造物の調査を行った。
調査建造物:伊豆本店、八所宮、承福寺等
・宗像大社辺津宮の境内摂末社について、所有者が腐朽・劣化状況を確認するための調査を行った。
・史跡宗像神社境内の史跡としての本質的価値を守りながら保存活用していくため「国指定史跡「宗像神社境内」保存管理計画」の改訂を行い、文化財保護審議会において意見聴取を行った。

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



伊豆本店主屋



八所宮本殿



宗像大社辺津宮境内摂末社



国指定史跡「宗像神社境内」整備基本計画

評価軸 -2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
			現在の状況
文化財の修理事業、防災・防犯に関する事業			実施済 実施中 未着手
計画に記載している内容	<p>文化財は、経年劣化や災害等の外的要因により損壊し、損壊の進行による滅失をまねく恐れがあることから、日頃の維持管理を含めた予防対策と、損壊した場合の適切な修理が重要である。</p> <p>文化財の修理は、歴史の真正性を担保するため、過去の改変履歴や調査記録などの活用と、新たな調査研究に基づき実施することを基本とする。</p> <p>文化財については、自然災害により損壊、滅失する恐れがあることから、被災リスクの軽減を図ることが求められる。滅失のリスクが高い火災は、火災が発生しないよう予防対策の徹底と、火災が発生した際に迅速に対応できるよう日頃からの防災教育・訓練に取組む。予防対策は、自動火災報知器や消火設備など、文化財を保存する上で必要と考えられる防火設備を設置する。</p>		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
・指定文化財所有者が修理・防災事業を実施し、宗像市文化財補助金交付要綱に基づき事業費の一部を支援した。 修理・修復事業：国宝「福岡県宗像大社沖津宮祭祀遺跡出土品」保存修理、市指定文化財(建造物)「八所宮本殿及び拝殿」石垣及び土塀保存修復 防災事業：国重要文化財宗像大社辺津宮本殿・拝殿他防災設備保守点検(防犯カメラ・防犯センサー含む)、国重要文化財鎮国寺木造不動明王立像防災設備保守点検、文化財防ぎょ訓練(宗像大社)、防火査察(市内指定文化財全て) ・世界遺産や指定文化財(国・県・市)について今後整備が必要な防火設備等の把握を行った。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している			
計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

文化財の修理・修復事業



八所宮石垣及び土塀保存修復

文化財の防災に関する事業



宗像大社文化財防ぎょ訓練(令和2年1月24日)



梅谷寺防火査察(令和2年1月23日)

評価軸 -3
文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
文化財に関する普及・啓発の取組			実施済 実施中 未着手
計画に記載している内容	市民や来訪者に対して本市の文化財に関する情報や学習・体験機会の提供に努めながら、意識の啓発を図る。また、地域における文化財の維持管理などを行う組織・団体の育成に取り組むとともに、市内に残る民俗芸能や伝統行事などの担い手の確保・育成に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
海の道むなかた館にて文化財に関する普及・啓発の取組を実施した。来館者数155135人 市内小中学校等社会見学24校、1176人 海の道むなかた館体験学習 参加人数2867人 海の道むなかた館特別展 Hi!!地図(11/2～12/22) 山村善太郎特別写真展(11/12～1/26) 海と祈り展(1/8～3/8) 館長講座 11回 参加人数819人 出前講座(ルックルック講座・ふるさとふるふる講座) 17回 参加人数1272人			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない			

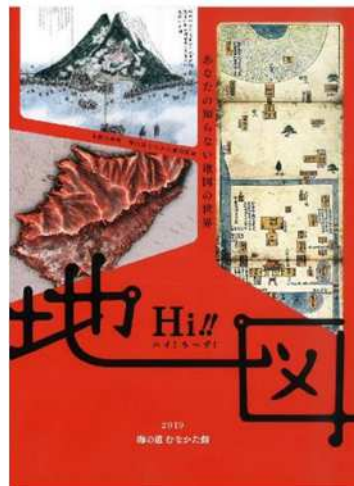
状況を示す写真や資料等



市内小・義務教育学校社会見学



体験学習(勾玉作り)



海の道むなかた館特別展

評価軸 -1 効果・影響等に関する報道		
報道等タイトル	評価対象年度	令和元年度
	年月日	掲載紙等
若者に宗像の歴史を	令和元年6月25日	朝日新聞
宗像・みあれ祭映像残そう	令和元年8月3日	朝日新聞
宗像「子供寺子屋カフェ」北欧の夏至祭で交流	令和元年5月22日	毎日新聞
宗・唐津街道の風情描く 神社などの版画24点	令和元年5月28日	西日本新聞
宗・宗像・唐津街道・赤間宿 夏の蔵出し祭 あじさい祭	令和元年6月15日	毎日新聞
宗・世界文化遺産登録から2年 宗像・福津で記念の催し	令和元年7月27日	毎日新聞
「神宿る島」世界遺産登録から2年 公開講座ファンら熱心に	令和元年10月18日	毎日新聞
秋の1日 八所宮で 多世代交流イベント	令和元年10月20日	毎日新聞
令和 厳かに祝う大嘗祭奉祝祭	令和元年11月16日	毎日新聞
宗像大社火災防げ 神職や巫女やバケツリレー	令和2年1月24日	読売新聞
世界遺産 連携して守れ	令和2年1月25日	朝日新聞
宗像大社で防災訓練	令和2年1月25日	毎日新聞
宗像地区恒例酒造開き	令和2年2月13日	毎日新聞
世界遺産群の価値一目で 初の世界遺産公式ガイドブック	令和2年2月16日	西日本新聞
依岳神社棟札幌県文化財に指定	令和2年3月14日	毎日新聞
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で		
各種事業が新聞等に掲載されたことで歴史的まちづくりの周知につながった。特に、宗像大社などの世界遺産に関する防災の取組の記事は複数紙に掲載され、注目度の大きさが感じられた。		
進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画の進捗に影響あり 計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		
著作権保護のため、新聞記事は掲載していません		

項目	評価対象年度	令和元年度
----	--------	-------

住民の意識と観光振興

計画に記載している内容
本市が有する多数の歴史文化資産の魅力や価値を再認識し、それらを守り、まちづくりに活かしながら、都市の個性と魅力に磨きをかけ、ふるさと宗像への誇りと愛着を一層確かなものにするともに新たな文化を生み出し、これらを地域の活性化や観光の振興につなげるなどにより、まちを躍動させることが求められている。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で、記事・議会議事録等を添付

・市民の生活実感に基づく意見や、各施策に対する現在の満足度および今後の重要度についての市民アンケート調査結果では、「自然景観を貴重な財産だと感じています」では約90%、「歴史や歴史資産に誇りや愛着を感じますか」では約65%の市民が満足度を示しており、高い水準にあると言える。また、「観光による地域の活性化」、「地域産業の活性化」、「教育環境の充実」、「生涯を通じた学習の振興」の満足度は増加しており、本計画に基づく歴史まちづくりの取り組みによる効果が見られる。

・計画実行による来訪者数などの調査を行った。
宗像大社・中津宮・遥拝所参拝者状況、宗像市観光物産館(道の駅むなかた)利用状況

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
------	----------	--------------------------

計画の進捗に影響あり
計画の進捗に影響なし

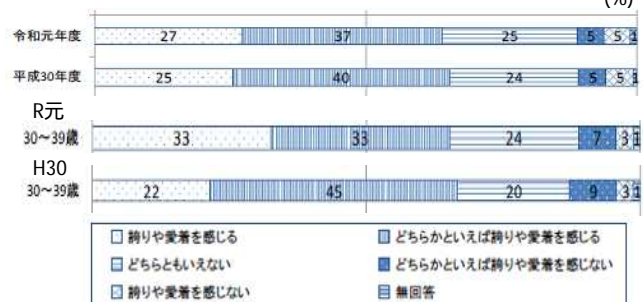
状況を示す写真や資料等

住民意識

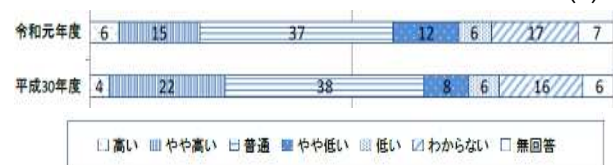
宗像市の自然景観(海・山・川など)を貴重な財産だと感じていますか。(%)



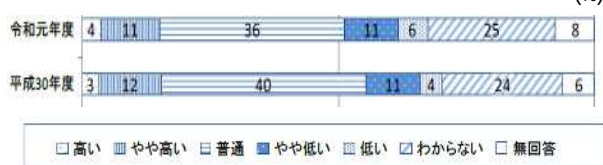
宗像の歴史や歴史資産に誇りや愛着を感じますか。(%)



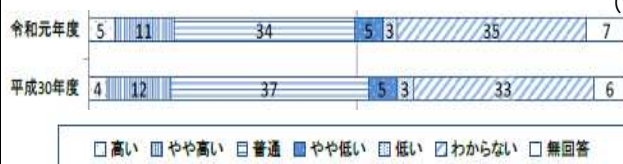
観光による地域の活性化についての満足度 (%)



地域産業の活性化についての満足度 (%)



教育環境の充実についての満足度 (%)



生涯を通じた学習の振興についての満足度 (%)



観光振興等

宗像大社・中津宮・遥拝所参拝者状況、宗像市観光物産館(道の駅むなかた)利用状況

(単位:人)

年次	総数	宗像大社辺津宮	宗像大社中津宮	宗像大社沖津宮遥拝所	道の駅むなかた
平成29年	2,596,922	841,105	33,272	39,136	1,683,409
平成30年	2,661,401	952,392	36,151	32,258	1,640,600
平成31(令和)年	2,476,533	829,164	31,413	28,638	1,587,318

評価対象年度		令和元年度
法定協議会等におけるコメント		
コメントが出された会議等の名称:宗像市歴史的風致維持向上計画推進協議会		
会議等の開催日時:令和2年3月17日 午後2時		
(コメントの概要)		
<p>評価軸 -1 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(都市計画法) ・史跡宗像神社境内地などの歴史的風致の維持及び向上に関する取組みについて、地区計画や景観計画に基づき今後も適切な運用に取り組んでいただきたい。</p> <p>評価軸 -3 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(屋外広告物法) ・無許可広告物の改善を図る取組みを今後も推進していただきたい。</p> <p>評価軸 -5 まちなみ環境整備事業について ・景観計画に基づく取組を推進するとともに、地域が主体的に参加し行政と連携して取組むことを期待したい。</p> <p>評価軸 -9 歴史文化資源ガイダンス拠点整備事業 ・事業が進捗していない理由と今後の見通し説明を求める。協議会で事業実施に向けた検討を行っているのであれば、進捗評価シートに記載し、今後も協議を続けていただきたい。</p> <p>評価軸 -13 地域活性化支援事業について ・まちのビジョンを地域の方と共有することが重要であり、倉敷市などの成功事例を参考するなどして地域活性化に取り組んでいただきたい。</p> <p>評価軸 -1 住民の意識と観光振興について ・世界遺産を観光振興に活用していく取組みに期待したい。</p> <p>計画全体 ・地域の方が歴史的な風景やまちなみを守りたいと思うことが重要であることから、今後も関係機関と連携してこの計画を推進していただきたい。</p>		
(今後の対応方針)		
<p>・地区計画や景観計画に基づき、史跡宗像神社境内地などの歴史的風致の維持及び向上を図る。 ・屋外広告物条例に基づき、無許可広告物の改善に向けた取組を進める。 ・景観計画における取組については、今後も周知啓発を行い、地域とともに歴史的なまちなみの維持や再生を図る。 ・施設内容、建設位置及び予算計画など整理すべき課題が多く、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会(福岡県、福津市、宗像大社、宗像市)で検討するも、具体的な事業の実施には至っていません。今後も協議を続けていく。 ・地域活性化支援事業については、今後も地域と連携して、地域活性化を図る。 ・世界遺産を観光振興に活用する取組みは、関係部署と協議を続け、効果的な事業実施に向けて検討する。</p>		